

未来へ

 紀の川市議会だより
令和元年【2019】8月1日発行 No.50

- 
- (特集)「酵素温浴ラマ」..... P2
 - 令和元年 第2回定例会 P4
 - 日曜議会を開催しました！..... P6
 - 委員会報告..... P7
 - 市政を問う(一般質問)..... P8
 - 追跡 あの質問、どうなったの?..... P15

始まりは 家族の介護

〜酵素温浴ラマ〜

鍋山

菊江さんきくえ

正衣さんまさえ



和歌山へは家族で

和歌山へは20年ほど前に、千葉から来られた鍋山さん一家。

きっかけは、正衣さんが鍼灸師になるため、熊取の専門学校へ行くようになったことです。それに合わせるようにお父さんが早期退職し、お父さんの友人が住んでいた岩出に家族で引っ越して来ました。

前が海、後ろは山

和歌山に来て2年、打田町の神領に家を建てることになりました。設計事務所にお父さんが気に入った家の模型があり、その家の形と土地が合うとこのことで決めたそうです。

しかし、設計士さんはその家には前が海、後ろは山、そんな情景が思い浮かんでいたようです。現地を見た設計士さんが、山はあるが海がないと困惑されているとき、前に「海神社」がありますと話す納得してくれました。



きっかけは母

和歌山へ来たのち、母の菊江さんが、父の両親と自身の親も引き取り、3人の面倒を見ることになりました。菊江さんは、2人も3人も同じです、と話されていましたが、簡単にできることではないですよ。



菊江さんは、神領に移ってから、家族のために何かできないかと考え、酵素風呂がいいだろうと思いい立ち、家を改造し酵素風呂を作ったそうです。

最初は、家族のために作りましたが、一般の方にも利用していただけたようにしました。

利用者は、口コミで来られる方がほとんどでした、と菊江さんは話します。

70歳から始める

酵素風呂は管理が大変で、おがくず・米ぬかを足し、攪拌し空気を入れる作業を毎日しなければなりません。一日休むと元に戻すのに二日かかるので、一日以上留守にするということができませんと語ります。



酵素風呂は約70℃あり、温度管理の関係から一日最大6人までしか受け入れられません。温度管理は季節によっても違うし大変です、と正衣さんは話します。

不要になったおがくずは酵素菌がいっぱいあり、畑の肥料として利用できるそうです。以前は借りていた畑で使っていました。大量に持ち帰った方からは、田んぼに使って、撒いて2年目には作物の成長が違うと言われたそうです。

本格的に再出発

菊江さんは、年齢からくる体力の衰えもあり、一時期やめていました。しかし当時利用していただいていた方に申し訳ないという思いで、5年ほど前から正衣さんが継ぐように



になりました。3年前からはインターネットで検索されやすいようホームページを作り、多くの方に知ってもらおうとしています。

お客さんのなかには、50mくらいしか歩けなかった方が、何度か通っているうちに、今では普通に東京へも行くようになった人もいます。

たった一度の利用でも便秘が解消した人もいます。酵素風呂にはなにか効果がありそうです。

紀の川市はいつでも くすくす

紀の川市は景色も良く、とても住みやすい、くすくすです。田畑が

太陽光発電ばかりにならないように願います、とお二人は話します。よく汗をかくこの仕事の関係で化粧はできないんです、と話すそのお二人の顔はとても艶やかでした。

(榎本・竹村)

酵素温浴とは…発酵した米ぬかやおがくずの中に身体全体を入れて、自然発酵熱を利用して体を温めるお風呂



笑顔が素敵な菊江さん(左)と正衣さん(右)

第2回定例会

こんなことが決まりました。

- ・会期 25日間
- 6月4日～6月28日
- ・一般質問 11名が登壇

今回の議案は

市長提出議案

- ・専決処分……………5件
 - ・人事案件……………7件
 - ・令和元年度補正予算……………2件
 - ・条例の改正……………3件
- 計17件

3件に注目!

すべての議案を 全会一致で可決しました。

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載してまいりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧になるか、議会事務局へお問い合わせください。

(議案第74号)令和元年度紀の川市一般会計補正予算(第1号)について

1 救助能力の向上

◎消防団運営事業 1千871万1千円

浸水被害など自然災害が多発するなか、消防署だけでは対応できず、消防団員が救助や避難誘導を行うこともあります。そのような場合に備え、救命胴衣やデジタル簡易無線機を整備します。

こんな質問が出ました

Q 救命胴衣を何着、デジタル簡易無線機を何台購入予定ですか。

A 救命胴衣を5方面隊に40着ずつで200着、デジタル簡易無線機を150台購入予定です。

Q いつ頃までに整備予定ですか。

A 消費税8%のうちに購入予定と考えています。



救命胴衣と無線機

2

学童保育の充実

◎放課後児童健全育成施設整備事業

3千514万6千円

田中小学校区の学童保育の待機児童を解消するため、施設（太陽の子）新築にかかる土地購入費などを予算措置するものです。

こんな質問が出ました

Q 受け入れ人数は何名の予定ですか。

A 定員は100名ですが、最大120名が利用できる規模になります。

Q 敷地内に、子供たちの遊べる場所は確保されますか。

A 園庭で遊べるようにします。



現在2ヶ所に分かれている「太陽の子」

3

幼児教育の無償化、 10月1日からスタートします

幼稚園、保育所、認定こども園

3～5歳

認可施設…すべての子供たちの利用料が無償化

（幼稚園は上限月額2万5千700円）

0～2歳

認可施設…住民税非課税世帯が無償化

こんな質問が出ました

Q 食費などはどうなりますか。

A 今まで保育料に含まれていた副食費（おかず）は実質保護者負担になります。ひとり親世帯や低所得者世帯は免除制度があります。主食費は引き続き保護者負担となります。（原則、実費徴収）

※通園送迎費、行事費などは、これまでどおり保護者の負担となります。



日曜議会を開催 しました！

市民に開かれた議会を目指し、今年度も日曜議会を開催しました。平日に議会を傍聴していただけない方にも関心を持ってもらおうと、昨年度より開催しています。各会派から1名ずつ6名の議員が一般質問を行いました。

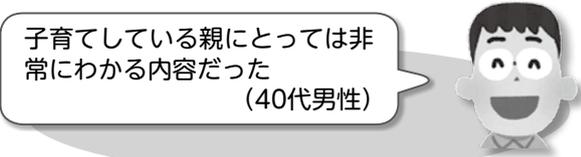
傍聴していただいた方に、議会や一般質問、日曜議会についてアンケートに答えていただきました。



具体的な例を挙げての質問だったので、よくわかった
(60代男性)



災害対策など、市民に優しい施策をお願いしたい (60代男性)



子育てしている親にとっては非常にわかる内容だった
(40代男性)



発言はもう少しゆっくりとして欲しい
(80代男性)



市も前向きに考えてくださることを願う
(40代男性)

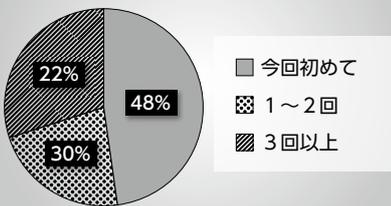


質問、答弁はもっと簡潔にするべき
(60代男性)

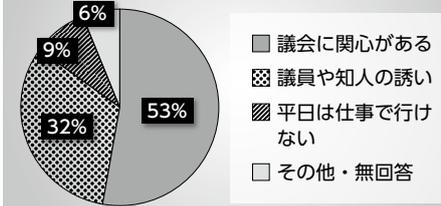
自分の母の体験談はおもしろかった
(60代男性)



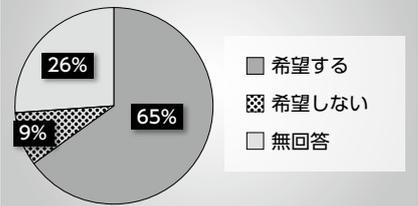
これまでに議会を傍聴したことがある



日曜議会傍聴の目的は



今後も日曜議会の傍聴を希望しますか



今回、2度目の日曜議会開催となりましたが、初めて傍聴された方も多く、「今後も日曜議会の開催を希望する」というご意見が多数を占めました。市民の方にもっと議会に関心を持っていただけるよう頑張っていきたいと思っております。
ご協力ありがとうございました。





委員会活動報告



各委員会では、議案の審査だけでなく、各委員会に付託された市民生活に深く関わることについて議会の開会・閉会にかかわらず調査研究を行っています。最近の活動状況についてお知らせします。

厚生常任委員会 4月26日

- ・児童虐待について
本市の児童虐待の現状と対応、また今後の課題について調査しました。

総務文教常任委員会 5月10日

- ・職員の労務管理について
職員適正化計画と病気休暇の状況について調査しました。

議会広報特別委員会 5月8日、9日

●あきる野市議会 ●読売新聞東京本社

あきる野市では「手にとってもらえる表紙づくり」「気付きを与える表現方法や読みやすさの工夫」をテーマに、あきる野市議会の広報紙をリニューアルしたことを事例に研修を受けました。特集と表紙写真の関係性や、写真サイズと文字書体の統一感がポイントであるとのことでした。

読売新聞東京本社では、記事の校閲方法などの研修を行いました。

より読みやすい議会だよりを目指し、今後の議会だよりの編集に今回の研修を活かしていきます。



紀の川市議会業務継続計画(※BCP)を制定しました

業務継続計画は、災害発生時など緊急事態での対応手順を事前に定め、スムーズに業務が行えるように備えておく計画のことです。

近年、全国各地で大規模な自然災害が多発しており、本市でも豪雨や台風による被害がありました。

昨年の第3回定例会では、台風の接近により本会議を延期したこともあり、今後も災害発生に備えておく必要があるなかで、議会運営委員会で計画の検討を行いました。

この計画では、大規模災害などの緊急事態が発生した際に、議会としての責務を果たすために必要な体制や議会および議員の役割などを定め、迅速かつ適切な行動ができるように定めています。



※Business Continuity Plan

いっぱん質問

市政を問う

上野 宗彦 議員 (9ページ)

- ・通学時の安全対策と、見守りGPSサービスの助成について

川原 一泰 議員 (9ページ)

- ・京奈和関空道路の対策は

榎本 喜之 議員 (10ページ)

- ・各種行政計画の周知について
- ・振り込め詐欺など特殊詐欺の対策について

杉原 勲 議員 (10ページ)

- ・公有財産の適正管理について

中村 まき 議員 (11ページ)

- ・加齢性難聴者の補聴器購入費助成について

室谷 伊則 議員 (11ページ)

- ・避難所の現状及び環境改善と備蓄品の拡充について

門 眞一郎 議員 (12ページ)

- ・県のIR (インテグレートドリゾート) の誘致方針について

石井 仁 議員 (12ページ)

- ・高齢者版「のびのびパスポート」の創設を
- ・「重いランドセル問題」への対応について

太田 加寿也 議員 (13ページ)

- ・車より、歩行者の安全が優先される道路づくりを

並松 八重 議員 (13ページ)

- ・プログラミング教育の必修化について
- ・地区防災計画について

大谷 さつき 議員 (14ページ)

- ・障がい者や高齢者が投票しやすい環境づくりについて
- ・小中学生の政治参加と投票意識の向上について

背景写真：平池緑地公園

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)



上野 宗彦 議員

子供を守ろう!

問

通学時の子供たちが交通事故や犯罪に巻き込まれないようにするための今後の取り組みは。

答

教育部長

スクールサポーターなど、共育コミュニティのボランティアによる組織活動を核とした見守り活動を強化していく。

また、校長会や学校運営協議会で登下校時の安全確保を地域の課題として協議をしていただき、具体的な取組みにつなげたい。

答

危機管理部長

交通指導員を委嘱して定期的に通学路で交通指導をしているが、高齢化で指導員が減少しないよう

うに勧誘を続けていく。

また、防犯カメラも有効な手段であり、平成29年度から補助事業を開始しているが、増設していくには自治区の協力が不可欠である。今後は区長会での説明だけでなく、市ホームページや広報紙での周知を検討する必要があると考える。

問

スマートフォン持参での通学は、歩きスマホによる事故の危険性が高いと考えるが、今後どう方向づけるのか。

答

教育部長

現在、スマートフォンの持参は原則禁止としている。自由に許可をするとは様々なリスクや悪影響が懸念されるので、今後もその方針を維持していきたい。



小型GPSをランドセルポケットに

新たな取り組みを

問

希望者に、警備会社などが提供するGPSサービスとの契約を市で助成しては。

答

教育長

子供に関わる事件や事故が多い昨今、保護者の気持ちを察すれば十二分に理解できる。地域の方々の協力と並行して、科学的対策としてのGPSの利用というのにも有効な手段のひとつと考える。

今後、関係機関と協議し十分な研究検討を進めたい。

京奈和関空連絡道路対策

問

京奈和関空連絡道路の建設に向けての対策をどのように考えているか。

答

建設部長

今後もさらにイベントなどでPR活動を地道に続け、内外にこの道路の必要性を強く発信していく必要があると考える。

また、国土交通大臣が、物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定し、重点的に支援する制度が設立された。今後は、構想計画中の路線も含め指定されると聞いており、本路線が「重要物流道路」として位置づけられるよう関係機関と協議しながら国に強く要望していく。

問

国、県、大阪府の動向にもよるが、本庁の中に京奈和関空連絡道路建設に向けての専門部局を作り市の強い思いを前面に出しては。

答

企画部長

本市を含め和歌山県、大阪府、奈良県の22の市町の先頭に立ち、実現に向け取り組んでいる。本市においても人口減少対策など、多方面において大きな効果が期待できることから建設部をはじめ関係部署と共に今後の県の動向を見極めながら部署の創設など、必要な対応をはかしていきたい。



答

市長

庁舎内に専門部局を作る方向については、今しばらく時間をいただいても少し前進した時点で設置を考えていきたい。「重要物流道路」の指定については議会と相談しながら陳情も考えていき、この問題については力を入れていきたい。新規の道を作るといっては大変ではあるが、常に住民の皆様の声や、また期成同盟会の22市町の住民の声がしっかりと国に届くよう大阪府和歌山県の後押しをいただきながら、期成同盟会のリーダー役として、本市あげて頑張りたい。



榎本 喜之 議員

閲覧で市民と協働

問

本市では、将来におけるあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針としての長期総合計画をはじめとして、様々な分野での計画がある。

市の将来像をどう考えているか知ってもらい、ともに行動してもらおうための方法の一つとして、これら計画書を本庁舎市民スペースや支所などの窓口待合に閲覧用として置いておくことは出来な

答

企画部長

現在、市が策定している計画などは67ある。特に市民に知っていただきたい計画などを中心に閲覧のために配置するもの、計画概要を集約し

担当部署を紹介する資料作成など、配置する範囲や方法について調査を進め、本庁舎、支所および出張所の窓口付近への設置に向け検討する。

貸し出しはしない

問

振り込み詐欺などの特殊詐欺のほとんどはまず電話がかかってくることから始まる。その時点から防げ方法として、「この

通話は自動で録音されま

答

危機管理部長

詐欺に使われる手段としては電話や郵便、携帯メールなどがあり電話によるものが一番多い状況である。

自動通話録音機と、5年以上前よりメーカーから発売されている同じ機能が付いた電話機の普及と合わせても、一定の抑

止効果で被害を免れた方もいたと思われるが、それ以上に特殊詐欺は複雑・巧妙化していることから被害認知件数も全国的には増えている。

市は、自動通話録音機の無償貸し出しや機械購入に対する補助などは実施する予定はない。しかし、関係機関と連携を密にし、防犯啓発をさらに強めて、詐欺事件を認知すればなるべく早く防災行政無線などで周知をはかっていく。



重要な計画

公有財産の適正管理を

問

5町が合併を行っている13年が経過しているが、用途や目的が重複している公共施設が多数存在している。那賀・桃山支所や保育所・学校の統合跡地の利用および売却などの計画は。また、少子化・

答

企画部長

不要となった行政財産については売却もひとつの方法と考えており、管理コストなどを考慮して

効果的な売却を進めていく必要があると考える。また、今後人口減少が進むと予測されるなか、



杉原 勲 議員

「紀の川市公共施設マネジメント計画」に基づき、関係各部署と共に、施設ごとの対応方針を定める個別計画の策定に向けて協議検討を進める。

答

建設部長

改修困難な市営住宅については、空き家も含め、放置すれば維持管理費の負担増や周囲への環境悪化にもなるので、撤去可能なものは順次解体し、マネジメント検討委員会

で関係各課と協議のうえ利用方針を検討している。また、耐震が確保できている市営住宅は、順次修繕工事も進めて行く。市営住宅は住宅困窮者のためにも一定の確保は必要であり、現在の長寿命化計画に基づき入居状況や需要などを見極め、入居者の安全確保を第一に考えて新たな市営住宅を建設する方向である。

問

公共施設マネジメント課が各担当部署と検討しているが、見直しなどを推進し、活用方法を統一

答

副市長

本市の人口規模や財政規模に見合った公共施設のあり方として、適正なサービス提供を持続するための個別計画を策定し、公有財産の適正な管理運営を行うために担当部署の体制の見直しが必要か、研究・検討を進める考えである。



桃山支所跡地

「聞こえ」の大切さ

問

難聴と認知症の関連性が報告されている。難聴の進行を緩やかにするためにも早い段階からの補聴器の装着が推奨されている。しかし、高額になる場合もあるため、購入をあきらめ、聞こえないまま毎日を通す方もいる。

難聴の方への対応は。

答

福祉部長

身体障害者手帳の交付対象者への補聴器の助成が行われているのみである。

問

加齢性難聴と認知症の関係をどう考えるか。

答

福祉部長

高齢者の社会的な孤立が認知症のリスク増加や認知機能の低下に係ると思われる。日常の活動が低下することで認知症の発症のリスクが高まるという報告があることから、高齢者が難聴で孤立しないようにすることが肝要である。

加齢性難聴に対処することは認知症を予防し、将来の介護給付費を抑制する手段の一つとなる可能性があるという認識である。

問

加齢性難聴者に対して公的補助を行っている自治体も増えている。本市でも助成事業に取り組んでは。

答

福祉部長

現時点での実施には課題がある。今後は、介護予防の取り組みをさらに推進していく。



中村 まき 議員

問

新オレンジプランでも難聴と認知症の関係が位置付けられている。国に対して、加齢性難聴者の補聴器購入費への公的補助制度創設を働きかけることはできないか。

答

市長

国の制度創設を求めることについて、補聴器を用いた聴覚障害の補正の有効性についての国の検証・研究を注視しつつ要望していく。



補聴器

避難所の環境改善を！

問

災害時における避難所の現状は、冷暖房の空調設備が整っていない避難所が多い。季節を問わず起る災害に対応できる避難所の環境整備が必要では。

答

危機管理部長

当面の対策としては、特に体調などが優れない方には、近くの公民館などの環境が整備された避難所へ移動していただくことを考えている。
また、各種企業と災害協定を結んでいるなかで、移動式のスポットクーラーやヒーターを必要数調達することも対応策のひとつと考えている。

問

どの避難所に、どこから何台の空調機を配置するなどのマニュアルの策定はされているのか。

答

危機管理部長

マニュアルは策定していませんが、空調関係は、企業との協定で調達する考えがある。

答

危機管理部長

現在、乳児用液体ミルクや粉ミルクの備蓄は行っていない。乳児用液体ミルクについては、大切な赤ちゃんの口に入る物であるため、各家庭で責任を持って、災害時の避難に備えていただけるよう推進したいと考えている。

液体ミルクの備蓄は

問

避難所では水を十分に確保できない事態もあり、粉ミルクを扱うことが困難な場合がある。乳児用液体ミルクは常温で約半年から1年間保存ができ、母乳に近い栄養素が含まれている。特に母乳が出ない母親にとって支えとなるに違いない。このような観点から、避難所の備蓄としての乳児用液体ミルクを考えては。



液体ミルク



室谷 伊則 議員



門 眞一郎 議員

県のIR誘致に対して

問

和歌山県がIR（カジノを含む統合型リゾート）の誘致に力を入れている。

カジノは賭博場であり、これまで日本では刑法で禁止されてきたが、昨年7月にIR実施法が成立し、解禁されることになった。

地域振興、経済の活性化、雇用の増大、観光客の増加など、県は様々な利点をあげているが、同時にギャンブル依存症や破産リスクの増加、治安の悪化、反社会勢力の介入、青少年への悪影響などもあげて、その対策を示している。

ギャンブル依存症の対策に力を注ぐよりも、IRを誘致しなければ問題は発生しない。カジノか

ら一般市民を守るためにも、IRを誘致すべきではないと考える。

県から本市に何らかの協力要請はあったのか。また、県主催のIR誘致説明会に、本市からも参加したのか。

答

企画部長

現在のところ協力の要請はない。説明会には企画部から1名参加した。

問

現時点で、本市としてIRについて何らかの検討をしているのか。

答

企画部長

誘致が決定していないのでIRについての検討はしていない。国・県の動向を注視しながらギャンブル依存症の対策についても考えたい。

問

IRを誘致して和歌山の活性化をという、県の政策についてどう考えるのか。

答

市長

県の経済発展に大きな期待ができる取り組みだと考える。ただ、県がやるから市が意見を出さないうつことではない。特に心配なのは依存症であり、市民に悪影響を与えることも考えられる。国や県が決めたから黙って容認するのではなく、皆さんの意見を交えながら慎重に市として対応していきたい。



誘致候補地のマリーナシティ周辺

高齢者向け自治体連携

問

市内小中学生には、「のびのびパースポート」が配布されている。これがあれば、神戸市の須磨海浜水族園や宝塚市の手塚治虫記念館など82の施設への入場や見学が無料となる。兵庫県や大阪府、徳島県、和歌山県の自治体が連携する、この枠組みを高齢者にも広げては。

答

企画部長

連携市町の賛同を得るにはハードルが高く、高齢者も対象にする提案は難しい。

問

近隣自治体との連携により、高齢者を含む紀の川市版「のびのびパースポ



石井 仁 議員

ート」を呼びかけては。

答

企画部長

妥当性や有効性なども含め、十分な検討が必要である。

楽しく安全に登下校

問

「重しランドセル」が社会問題化され、文科省は昨年9月「児童生徒の携行品に係る配慮について」との通知を出した。対応は。

答

教育部長

近年、教科書や教材が厚く重くなっていることを認識し、体格の小さい子や、自転車の操作に悪影響のないよう配慮が必要と考えている。文科省の通知内容に沿って対応している。

資料集や副読本、主要教科以外の教科書は置いて帰ってもいいこととしている。多くの携行品があれば、一日に集中させないようになり、機会

を捉えて保護者の協力も求めたりしている。

問

小学生の場合、体格に合わせて選択できるようリュックサックでの通学は。

答

教育部長

ランドセル限定という決まりはない。

問

現状の配慮と対応で十分かどうかの検証が必要では。

答

教育部長

体格の小さい子もいる、かなり負担を感じているお子さんもいるかも知れない。今後、児童生徒、保護者の生の声に沿って対応していきたい。



雨の日は傘も差して



太田 加寿也 議員

歩行者を守る道路整備

問

最近、車の運転操作ミスによる悲惨な事故が相次いで発生している。ドライバーの責任が非常に大きいのは当然だが、道路整備の面から考えると、歩行者より、自動車を優先した道路が多く作られてきたのではないかと。横断歩道や停止線なども消えかけていて、車からもよく見えない箇所が数多く見受けられる。車から通学生徒や歩行者を守るため、グリーンベルトの設置や横断歩道の横断旗の設置・補充などをさらに進めるべきと考えます。また、多くの小・中学校や保育所などが、交通量の多い幹線道路に面して設置されているなかで、地域や学校から届いた通

学路の安全対策の要望にどのように取り組んでいるのか。

答 教育部長

安全対策の要望については、市で設置出来るものはほぼ実現出来ている。グリーンベルトは、西貴志小学校区に設け、高い効果をあげていると報告がある。本年度は、粉河・川原・調月小学校区で標示を予定している。

答 建設部長

自治区からの要望として、ガードレールなどの防護柵やカーブミラー・区画線などがあり、平成30年度では101件中80件の対策を実施している。視覚効果を利用した路面塗装では、導流レーンにより道幅を狭く見せ減速させたり、『スピード落とせ』や信号機のない横断歩道の手前にダイヤマークの路面標示をするなどで対応している。

答 危機管理部長

横断歩道の白線が消えた場合、随時市担当部局と相談し警察に対応を依頼している。今後は、より情報収集に努め、警察など、関係部署と連携を密にし、整備・要望に対応していく。

また、横断用の旗の設置・補充については、4月の新入生児童が通学を始める時期に合わせて、教育委員会を通じて、学校へ協力依頼し、計画的な整備を進めていきたい。



狭くて危ない歩道

「ICT教育」始まる

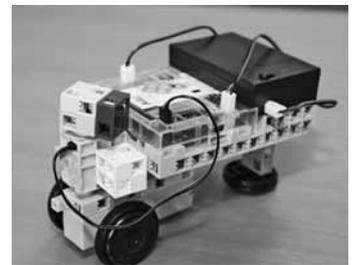
問

県教育委員会は「ICT教育」として、今年度からすべての学校でプログラミング教育を実施することとしている。本市の現状と今後の準備は。

答 教育部長

小学校を体験期、中学校を基礎期、高等学校を応用期として継続的に情報活用能力を育成できるように計画されている。

1～4学年は、各種授業の機会を捉えてプログラミング的思考を育み、5～6学年はコンピューターなどを使ってロボットを動かす手順などを考えたりする。ロボット教材も無償譲渡され、学習指導案集などを活用し、



5, 6年生が使うロボット教材

支援員の派遣も計画している。

問

教員の指導力と習得度のレベルアップが必要だが、どのように取り組むのか。

答 教育部長

研究授業をはじめ、教員間の情報交換会を開催し、教員全体のレベルアップに繋げる。

住民主体の防災計画を

問

国は、東日本大震災で自治体の行政機能が麻痺したのを教訓に、地域の特性に応じ地区の範囲や活動について柔軟に規定

できる「地区防災計画」制度を平成26年4月に導入している。本市の認識と現状は。

答 危機管理部長

「地区防災計画」の重要性は認識しているが、過去に大災害を経験した地域などで策定していると思われる。市民の防災意識も高いとは言えず、制度の認識はほとんどなく、計画策定の段階に至っていない。

問

自主防災活動は、想定外の事態に対処できる地域の力を高めることが究極の目標といえる。地域の活動の一環として「地区防災計画」制度の普及、啓発活動に取り組むべきでは。

答 危機管理部長

制度の普及とまではいかないまでも、自主防災組織の自主的・自発的活動となることを重点的に指導・助言をしていく。



大谷 さつき 議員

大切な一票を支援しよう

問 投票所において、障害者や高齢者など誰もが投票しやすい環境を整備することが大切である。コミュニケーションボードを活用して、意思疎通が困難な方を支援しては。

答 コミュニケーションボードは、聴覚に障害のある方など、文字や話し言葉によるコミュニケーションが難しい方から、よくある質問や依頼などをイラストでまとめた指さし版である。先進事例を研究し、導入を検討していく。

問 障害者の方に配慮した投票方法の拡充として、

投票補助者と共に、別室またはパーテーションで囲むなど支援はできないのか。

答 選挙管理委員会書記長

公職選挙法において、選挙人が別室やパーテーションで囲まれた場所で投票を行うことについての規定自体はないが、公職選挙法第一条には、選挙が公明かつ適正に行つていくことを目的の一つとする内容がある。現段階では困難である。

選挙出前授業の実施を

問 本市において、主権者教育の取り組みは。

答 教育部長

選挙制度については、



投票に行こう

小学6年生の社会科で学習している。中学3年生の歴史や公民分野では日本国憲法の制定や基本的人権の学習に続き、選挙の疑似体験をテーマとした授業を行っている。

問

主権者意識を高める教育、政治参画、投票意識向上のため出前授業を実施しては。

答

教育長

平成27年度に小中学校4校が「出張！県政お話し講座」に申し込み、模擬選挙の出前授業を実施したが、近年では実施していない。

今後、授業の進み具合や日程が合えば調整したいが、他の授業を削っての実施は困難である。

議会を傍聴してみませんか

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、傍聴することができます。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ傍聴にきてください！



【傍聴手続き】

本会議の傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名を記入していただき、入場してください。

本会議の傍聴定員は、30人（うち車いす用2席）です。

【受付場所】

本庁舎6階 議会事務局

電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ… 議会事務局

電話番号：0736-77-0860

NEXT 次回 9 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30	31
					本会議 (開会)	
9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・ 質疑・付託) 予算決算 常任委員会		
9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14
	予算決算 常任委員会 (総務文教 分科会)	予算決算 常任委員会 (総務文教 分科会)	予算決算 常任委員会 (厚生分科 会)	予算決算 常任委員会 (厚生分科 会)	予算決算 常任委員会 (産業建設 分科会)	
9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21
		予算決算 常任委員会 (産業建設 分科会)	総務文教 常任委員会	厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	
9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28
			予算決算 常任委員会		本会議 (閉会)	

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

追跡 ちょっとおしえて! あの質問、どうなったの?!

ITで田舎暮らし

ITで起業を目指す若者に、市の遊休地を活用してITオフィスをつくり、起業の支援をしては。

答弁

ITオフィスについては、既存の施設を貸し出す形をとるか、新築して貸し出すかを検討していく。

その後

一步後退

現時点で、既存の施設で耐震性に問題なく貸し出しできる施設を保有していないことから、引き続きの検討事項と考えている。



若者の流出をストップ

若者の働く場として、引き続き、北勢田第2工業団地を拡張して企業誘致をしていかないのか。

答弁

雇用施策を推進するには、企業誘致を引き続き進めることは必要と考える。スピーディさが求められるなか、早く整備ができるよう検討していく。

その後

一步前進

関係部署の職員からなる検討会議を4回開催し、新工業団地候補用地の選定（案）を取りまとめ、経営戦略会議において承認を受けた。

今後は、候補地の地権者の意向調査を進めるとともに、「紀の川市新企業団地基本構想（仮称）」に向けた準備を進める。



北勢田工業団地



愛宕橋開通



3世代渡り初め



竹あかり



七夕まつりで紙芝居 (丸栖保育所)



令和最初の運動会 (粉河保育園)

編集後記

令和がスタートし、穏やかな祝賀ムードに包まれるなか、愛宕橋と諸井橋が完成しました。2つの橋は60年以上経過し老朽化が進み、架け替えにより利便性の向上はもとより、観光振興や地域の活性化に大きく期待が寄せられています。

また、平池緑地公園で行われたベトナムハス・大賀ハスの観蓮会にG20の招待国として参加したベトナムのグエン・スアン・フック首相ご夫妻はじめ、大勢の方が出席されました。平池にはベトナム国花のハスが植えられており、咲きはじめた可憐な花を眺めながら、一層信頼関係が深まったことと思います。

読まれる議会だよりを目指して、先進的な取り組みをしている、あきる野市に視察研修してきました。市民の方に手に取ってもらう機会が増えるよう取り組んでまいります。

(大谷 さつき)

